

未来に向かう、高島屋年代記

高島屋創業195周年記念展

TAKASHIMAYA CHRONICLE

タカシマヤ
クロニクル

第Ⅳ期：乱の時代

百・華・繚・乱

2026年 10月10日[土]—12月21日[月]

第Ⅰ部：10月10日[土]—11月16日[月] 第Ⅱ部：11月21日[土]—12月21日[月]

[入館無料] 休館日＝火・水曜日 開館時間＝10:00～17:00(入館は16:30まで)

※会期は変更となる場合がございます ※11月17日[火]～11月20日[金]は展示替のため休館

会場＝高島屋史料館 企画展示室

高島屋史料館

Takashimaya Archives

 Takashimaya

初公開資料から不朽の名作まで一挙公開!!

タカシマヤクロニクル 百・華・繚・乱



高島屋創業180周年記念
作品として制作

森村泰昌《北野恒富・考 / 参
(百選会 / ロマン・ド・ラ・
ローゼ)》2011年【I部】

ロマン・ド・ラ・ローゼ
中馬和子 1991年【I部】



森村泰昌《北野恒富・考 / 四
(百選会 / 小磯良平風に)》
2011年【I部】

流線美式天象 千穂
2014年【I部】



日本古来の「連歌」をヒントに開催した「連画」展への出品作

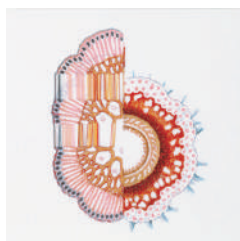
中島千波《われ巴里想う虹のかけ橋》
1995年【II部】



室越健美《銀幕にゆれる影絵のたたずまい》
1995年【II部】



東日本大震災被災地復興支援
イベント「明日へのエール」
岩手県大槌町で浅井氏が
子どもたちと制作した巨大アート
浅井裕介《ぼくたちはいつも何か
とつながっていて世界は命で
あふれている》(部分)
2014年【I部】



2024年度タカシマヤ美術賞
受賞記念作品
宮田彩加《WARP II—
エルンスト・ヘッケルへの
オマージュ》2023年【II部】

高島屋の歴史は、1831(天保2)年正月、初代飯田新七が
京都・烏丸松原で古着木綿商「高島屋」を創業したことに
始まります。2026(令和8)年は高島屋創業195周年に
あたります。

高島屋史料館では、創業以来の史料や美術品、呉服、広
告宣伝物など、高島屋の歴史とともに蓄積されてきた多種
多彩な品々を収蔵しています。本年は会期を4期に分け、
収蔵品を通して、高島屋の195年をご紹介します。

日本がバブル景気に沸いた時代からその崩壊へー。20
世紀の終わり、百貨店は低成長を余儀なくされました。その
後も、先行きが不透明で、複雑化の一途をたどる現代は、
まさしく「乱」の時代といえます。本展第IV期では、インター
ネットの普及を背景に世の中が大きく変化し、人々の価値
観の多様化が進んだ平成時代から、令和を生き抜く
高島屋の現在、そして、来たる創業200周年に向けて、
高島屋グループが描く未来像までをご紹介します。

「百」「華」「繚」「乱」—各時代の高島屋をお楽しみいただ
ければ幸いです。

※本展は会期をI・II部に分け、展示品を一部入れ替えて構成します。

イベントのご案内

※詳細は当館ホームページをご覧ください。状況により、イベントを中止
する場合がございます。

①②いずれも参加無料、要申込み、抽選制です。当館ホームページより
お申込みください。

①アーティストトーク「私と美術と高島屋」 要申込み・抽選制

■講師=森村泰昌氏

■11月1日[日] 13:00~14:30

■会場=多目的ルーム ■定員=20名

②講演会「暮らしと美術と高島屋」 要申込み・抽選制

■講師=橋本善八氏(世田谷美術館 館長)

■11月22日[日] 13:00~14:30

■会場=多目的ルーム ■定員=20名

企画展ギャラリートーク

第1・第3土曜日14:00~(約30分)

※お申込み不要、開始時間までにロビーにお集まりください。

【アクセス】

南海電鉄・大阪メトロ「なんば駅」、

近鉄・阪神「大阪難波駅」より徒歩約10分

近鉄・大阪メトロ「日本橋駅」5・10番出口より徒歩約8分

※専用駐車場はございません。近隣の有料駐車場をご利用ください。

【住 所】

〒556-0005 大阪市浪速区日本橋3-5-25

高島屋東別館3階

TEL. 06-6632-9102

<https://www.takashimaya.co.jp/shiryokan/>

